

愛のチャリティー・カラオケ大会

出場者104人が熱唱

カラオケ愛好者104人が出場した「横芝第1回チャリティー・カラオケ大会」が、5月18日に町文化会館で盛大に開かれました。出場者の中には、はるばる茨城県から来た人もいたほどで、600人の観客を前に自慢ののどを披露しました。なお、この収益金の一部が、「福祉に役立ててください」と、主催した横芝カラオケ同好会から町へ寄付されました。



観客を前に熱唱する出場者



不慣れな手で、一生懸命に苗を植える子供たち

横芝小が田植えに挑戦 5年生

泥にまみれた尊い体験

5月6日、横芝小の5年生139人は、栗山の藤井元治さんの水田を借りて田植えを行いました。田植えの目的は、米づくりの体験をさせることにより、農家の人々の苦勞や働くことの尊さ、米の大切さなどを理解させようというもので、これには藤井さんをはじめ、松尾農業普及所の方々が協力してくれました。この日は、薄曇りの肌寒い天気でしたが、興味と意欲いっぱいの子ども達は顔や胸中を泥だらけにし、3時間の悪戦苦闘の末、無事、1反5畝(15アール)を植付けました。土がぬるっとして気持ちが悪かった「初めてで楽しかった」「田植えって大変だなぁ」などなどと、感想をもらっていました。それぞれに得たい経験をしたようです。

私のひとこと



先頃ある研究会の席で近未来のことがらが話題になった。

近年の止まるどころを知らないコンピュータの能力向上とバイオテクノロジー、超L S

光ファイバー、超L S I等の新素材の開発と

応用技術の進展により、オートメーションシス

テムがますます進み、人間が参加する余地が

ないほど電子化、ロボット化が進むであろう。

何も先端技術ばかり追いかけても従来

の技術でも良いものがあるのではないかと思

われるが、日本のような加工技術国は世界の最

先端から遅れをとると、たちまち経済が落ちこ

むばかりか、回復不能のダメージを受けかねない。

また、人口構造の変化では、近年の高齢化傾向による

「少産少死」の状況が変らぬかぎり次の社会では2人に1人は40歳

以上という中高年人口がますます

時流寸考

海保正(南川岸)

肥大化する一方で子供が貴重品視されるようになり、長男長女の結婚で孫の取り合いが始まりかねないであろう。農村も農業の担い手の高齢化により、減反政策などともなくとも労働力の減少により穀物不足が慢性化して、いくら工業製品を輸出して稼いだところで、石油、鉱物類ばかりか高い食糧の輸入にあてなければならぬという事態になりかねない。

生産は社会のニーズに従って行なわれるという原則によれば、産業界の変化はこうした技術革新、人口構造の变革、社会意識の変化、さらに世界の政治動向といった要因により起るので、今後は世界的視野で社会の動向による産業界の変化の波を予測し対応していくことが、ますます重要なことになるであろう。

新緑が目に見えるような初夏の候、美しい日本の中の我が郷土、私達はそれぞれ生活の場は異なるが、時流の変化に対応し現代を生き、さらに未来につなげていくため、確かな情報交換の機会を多く持つていきたいものと思う。